

令和3年度修了式

今日は、今年度最後の登校日でした。21日(月・祝日)で新型コロナウイルス感染症に伴う、まん延防止等重点措置が解除され、久しぶりに全校が体育館に集まり、修了式を行いました。また、修了式後には、今年度の後期生徒会役員と来年度の前期生徒会役員の引継ぎ式が行われました。本校の生徒会活動の伝統を受け継ぎ、持続可能な活動となるよう期待しています。

明日から4月6日(水)まで、2週間ほどの春休みとなります。昨年12月の学校運営協議会で、委員の方々と1・2年生の議員・生徒会役員が、暁中生のよいところについて話し合いをしました。どのグループからも「あいさつができること」があがりました。春休み中は、地域の方々へ積極的にあいさつをして、明るい地域づくりに貢献してほしいと思います。

春休みが終わると、新しい学年に進級します。よいスタートが切れるように、休み中は進級への準備と十分な休養にあててください。また、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、新年度の始業式に元気な姿で登校できるようにしてください。保護者の皆様には、この1年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。



○ 校長講話

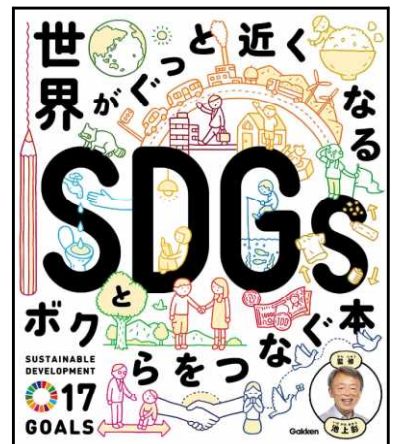
2月に実施したオンライン朝礼で、長崎への原爆投下の話をしました。卒業した3年生には、1年生の時に、広島への原爆投下や知覧の特攻隊の話もしました。私たちは戦争や原爆を直接経験していませんが、日本人が忘れてはいけない大切なこととして、私がそれぞれ現地を訪れて学んだことを伝えました。日本は世界で唯一、戦争で原爆を投下された国です。

戦争や原爆の話以外でも、毎年度行う講演会や出前授業は、命に関わる内容が多くあります。皆さんに命について考え、命を大切にしてほしいという願いがあります。現在、ウクライナで大変なことが起きています。命を奪われたり、危険にさらされたりしている方たちが、どんな思いをしているか、毎日の報道を見聞きしてたいへん心が痛みます。相手国の大統領が演説で、世界で最も強力な核保有国の一つであると話していることが残念でなりません。

SDGsの17の目標の中にも持続可能な世界であるために、戦争や紛争がない世界という目標があります。私たちは、よその国や他の地域のことと思わず、身近に起きている争いごとや問題の延長として起きていると考え、身近なところから命の大切さを意識して、力ではなく、話し合いなどの適切な方法で解決していくようにしなければなりません。

次に、「挑戦すれば、成功もあれば失敗もある。でも挑戦しなければ成功はない」という話をします。北京オリンピックのスノーボード女子ビッグエアの決勝に出場した岩淵麗楽選手の挑戦の話です。

スノーボードビッグエアとは、雪で作られたジャンプ台から飛んで技を繰り出し、その難易度と完成度を競い合う競技です。岩淵選手は2回目の試技を終えた時点で4位でした。最後の3回目、女子選手初の空中で縦に3回転する大技に挑戦しました。残念ながら着地で失敗して、順位は4位と変わりました。岩淵選手の大技への挑戦は、メダル獲得に向けてのものでした。大技に成功していたらメダルが取れていたかもしれません。最後の試技を終えた岩淵選手のもとに各国の選手が駆け寄って抱き合い、大技への挑戦をたたえる様子がオリンピックを観ていた人々に大きな感動を与えました。岩淵選手は挑戦することによって大切なものを得られたと思います。



公立高校入試制度の変更

来年度の3年生より、公立高校の入試制度が変わります。変更のポイントは、配布済みの県教委のリーフレットで確認してください。

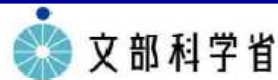
リーフレットにない重要な点は、推薦選抜や一般選抜の実施時期が早まるので、出願時に入学願書とともに中学校から高校に提出する調査書（内申書）を12月末までの実績で作成することです。つまり9教科の評定（内申点）は、3年生の4月から12月末までの成績でつけたものを載せます。そのため、今年度まで1月に実施していた3年生の学年テストを、来年度から12月に第4回定期テストとして実施します。12月末までに、調査書に載せる評定を生徒と保護者の皆さんにお知らせして、受検校決定に支障が出ないようにします。評定の知らせ方については、これから検討していきます。

なお、私立高校や専修学校の一般・推薦入試については、今年度までと同じで、前期の評定で調査書を作成します。



文部科学大臣メッセージ

新年度を迎えるにあたり、生徒の皆さんに向けた、自分と大切な人の命に関わる文部科学大臣のメッセージが学校に届きました。保護者や学校関係者等に向けてのメッセージは、学校ホームページに載せますのでご覧ください。



中学生・高校生のみなさんへ
～ 不安や悩みを話してみよう ～

もうすぐ新年度を迎えます。受験等の進路の問題や、家庭内の問題、あるいは友人関係などで、不安や悩みを抱えている人はいませんか。

誰にでも悩みや不安があります。悩みや不安を一人で抱え込まず、家族、先生、スクールカウンセラー、周りの友達、誰にでもいいからあなたの悩みを話してみませんか。必ずあなたの味方になってくれる人がいます。周りの人に相談しづらいときは、電話やメール、ネットで相談できる窓口もあります。気軽にあなたの悩みを話してみてください。人に相談することは決して恥ずかしいことではなく、社会で生きていく上で必要な大切なことです。

あなたの周りに元気のない友達がいたら、積極的に声をかけて、信頼できる大人につないでください。また、自分や友人が悩みや不安を抱えた時に相談できる機関として身近なところにどのようなところがあるのか調べてみてください。

電話やメール、ネット等の相談窓口

相談窓口の紹介動画

(リンク先には警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。)



<https://youtu.be/C1ZTks92U>



https://www.mext.go.jp/a_www/photos/ai/teishidun/96112210.htm



令和4年3月
文部科学大臣 末松 信介